

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	下田 良秀（5）	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた上でのこれからの社会を考えた富士市デジタル変革宣言について</p> <p>現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延する事態となっており、終息のめどはいまだ立っていない。</p> <p>今回の事態を受けて、3密を避けるなどの感染防止対策のため、多くの企業が在宅勤務をはじめとする対応を通じて事業継続を維持する、あるいは自宅待機や休業などの措置でやむなく事業を一時的にやめるといった対応を余儀なくされた。</p> <p>一方で近年、働き方改革が話題になっている中、この緊急事態により多くの企業や事業者の柔軟性やテレワークの実現性が試される状況となった。</p> <p>行政においても、コロナ禍の中で、業務を継続するために様々な取組がなされてきている。</p> <p>そのような中、富士市では急速に進化するデジタル技術を最大限活用し、様々な社会的課題に果敢に取り組むことにより、暮らしの質や価値を高め、安心して豊かなまちづくりを推進していくことを宣言するという、富士市デジタル変革宣言を発表した。</p> <p>この宣言の3つの柱として、①「市民サービス」のデジタル変革、②「地域活性化」のデジタル変革、③「行政経営」のデジタル変革を挙げ、取り組んでいくとしている。</p> <p>このようなデジタル変革を早期に実現することが、新型コロナウイルス感染症がもたらす影響への対応だけでなく、地域、産業、教育、行政経営など様々な分野での富士市の未来を見据えた動きになると考える。</p> <p>そこで以下質問する。</p> <p>(1) 富士市デジタル変革宣言をした中で、現状、デジタル化へどのような取組をしており、今後どのようにデジタル変革を進めていくのか。</p> <p>(2) 他自治体において、デジタル変革や戦略的にデジタル化を進めるための組織（デジタル戦略室等）を設置しているが、富士市でも積極的にデジタル変革を進めるための組織を設置してはと考えるがいかがか。</p> <p>(3) デジタル変革をする上で、主要な取組にも挙げられているデジタル人材の育成は急務であると考えているが、外部人材の登用や育成を含めて、どのように進めていくのか。</p>	市長 及び 担当部長